

## DECT における物質密度画像を用いた椎体骨髄浮腫の検出能に関する研究へのご協力をお願い

このたび、下記の医学系研究を行うにあたり、当院の倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

また、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を下記までお申し出下さいますようお願いいたします。

### 1 対象となる方

2017年11月から2018年6月までに当院の整形外科を受診し、椎体圧迫骨折疑いにて Revolution CT で撮影した患者さんが対象となります。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、その旨を下記までご連絡下さい。

### 2 本研究の目的

この研究は、これまでMRIで診断されてきた椎体圧迫骨折に伴う骨髄浮腫の検出を、dual energy CT から作成された物質密度画像でも検出可能であるか後ろ向きに検討を行っていきます。この研究の結果は、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

なお、この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

### 3 使用機器

当院で稼働しているGE社製 Revolution CT になります。

### 4 協力をお願いする内容

Revolution CT で撮影された患者さまの画像を使用して研究を行います。

具体的には、撮影された患者さまの画像から物質密度画像を作成し、視覚的に椎体圧迫骨折に伴う骨髄浮腫の検出が可能であるか検討を行います。

また、物質密度画像に関心領域を設定し、物質密度値から定量評価を行い骨髄浮腫の検出が可能であるか検討を行います。

### 5 本研究の実施期間

2017年11月から2018年6月